

じんけん通信

2022年8月25日 No.5

平和学習日～次の世代へと平和を語りつぐために～

○平和について考える○

今年の8月6日に広島で行われた平和式典では、広島市長より「今、核保有国がとるべき行動は、核兵器のない世界を夢物語にすることなく、その実現に向け、国家間に信頼の橋を架け、一步を踏み出すことであるはずです。核保有国の為政者は、こうした行動を決意するためにも、ぜひとも被爆地を訪れ、核兵器を使用した際の結末を直視すべきです。」と語られています。また、岸田首相は「77年前のあの日の惨禍を決して繰り返してはならない。これは、唯一の戦争被爆国である我が国の責務であり、被爆地広島出身の総理大臣としての私の誓いです。」と語られました。



平和学習発表・ビデオ学習を通して～みんなの感想より～

【1年 「ヒロシマに一番電車が走った」】

- 戦争は、罪のない人までも巻き込み、命を奪うあつてはならないものだと思ひました。あれほど悲惨なことが、77年前の日本であつたと考えると、とても怖くなりました。もうこのようなことがおきないように”今自分たちにできること”を考え、それを実行していきたいと思ひました。
- 平和は自分でつくるものだと思う。人それぞれの平和があるから、平和をつくるために今自分ができることをして平和をつくっていく。
- やっぱり戦争というものはとても悲しいです。戦争をして何か良いことがあるのかなと思ひました。3年生の平和学習の発表がとてもわかりやすかったです。これからも次の世代の子どもたちにも戦争の悲惨さを知ってほしいと思ひます。

【2年 「夏服の少女たち」】

- 私が今当たり前に食べている食べ物すら食べれていなかった。だからこそ、好き嫌いせずに出さ

れたものは食べようと思つた。戦争があつたという事、一人ひとりに夢があつたこと、好きなことができなかったこと、戦争で起きたことをちゃんと受け止め、今がどれだけ幸せなのか考えることができた。私にできることは、この事実ありのままを伝えていくことだと思ひます。

- 改めて、あたりまえに生活を送ることができていて、私は幸せだなと思ひました。平和な未来をつくるために私ができることは、もっと戦争について知り、戦争の恐ろしさを社会に広めていくことと、社会に関心を持つことだと思ひました。

- 今がとても平和なんだと思ひました。布がなくて、服を自分たちで作らないといけなことを知りました。空襲を実際に経験したら、音がでかくて不安で、怖いだろうなと思ひました。戦争は

いけないことだと言つていくことが大事だと思ひます。

- 昔は、米を十分に食べることもできず、勉強をすることもできず、夢に向かつて頑張つても、絶対になうことはなく、とても悔しくて、悲しかったと思ひます。だから、今米を十分に食べていること、勉強が嫌になるほどできること、そして、夢に向かつて頑張つていくこともできることに感謝していこうと思ひました。

【3年 「核兵器開発者アグニュー博士と被爆者の対談」 + 「オバマ大統領広島スピーチ」】

- 動画を見て、被爆者とアグニュー博士の考えどちらも大切にしていきたいと思つた。アグニュー博士の話聞いて日本も悪いところがあつたと改めてわかつたし、アメリカの人たちも大切な人がなくなつたり日本と同じように悲しい想ひをしている人がたくさんいるということを知つた。日本もアメリカも、もう核が使われないことを願ひ、戦争が起きないことを願つていたので良かったと思う。

- 私はアグニュー博士の意見が納得できました。広島で被爆した人たちはすごくしんどい想ひをしたことも、どれだけの人が亡くなつたのかも私は小学生から学んでいることなのでわかつていますが、原子爆弾を投下したアメリカだけが悪いとは思ひません。この戦争というものをしていたアメリカも日本も悪いと私は思ひます。

- 今だから言えるけど、人が殺されたのも事実。原爆が落とされたのも事実。だけど、じゃあなぜ原爆が落とされたん？なんで人が死んだん？人のせいにばつかすんなど思う。こういう戦争についての勉強は、日本のいいところ、ほかの国の悪いことしか教えてくれない。全部を教えてほしいと思う。だからこの勉強は嫌ひ。

- 日本は日本で真珠湾攻撃をしてしまつて、アメリカはアメリカで沖縄の地上戦や原爆投下など、お互いの国があやまちを繰り返してしまふことによつて戦争が起こつてしまつたんだなと思ひました。

- 広島原子爆弾のことを学ぶのなら、日本の真珠湾攻撃のことについて詳しく学ばないといけなと思ひました。

